

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2020年3月25日[当初、2024年11月22日]まで (2014年11月25日設定)	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	米国成長株オープン	US・グロース・ストック・ファンド(USDクラス) 受益証券およびマネー・プール マザーファンド 受益証券
	US・グロース・ストック・ファンド(USDクラス)	米国の金融商品取引所上場(これに準ずるものを含みます。) 株式
	マネー・プール マザーファンド	わが国の公社債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> 米国の金融商品取引所上場(これに準ずるものを含みます。) 株式を実質的な主要投資対象とします。 原則として為替ヘッジを行いません。 	
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 	
分配方針	毎年4月26日および10月26日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。(ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。)原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円(10,000口当たり)を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。(資金動向や市況動向等により変更する場合があります。)	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

償還報告書(全体版)

[繰上償還] 米国成長株オープン

愛称：成長大陸

信託終了日：2020年3月25日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「米国成長株オープン」は、約款の規定に基づき、先般ご案内申し上げました予定通り、3月25日に繰り上げて償還させていただきました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
(受付時間：営業日の9:00~17:00、
土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	騰落率		債組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率	純資産額
		税金分配	み騰落				
	円 銭	円	%	%	%	%	百万円
7期(2018年4月26日)	10,000	128	1.3	—	—	88.5	722
8期(2018年10月26日)	10,000	1,054	10.5	—	—	87.9	645
9期(2019年4月26日)	10,000	965	9.7	—	—	91.1	649
10期(2019年10月28日)	9,616	0	△ 3.8	—	—	95.2	718
(償還時)	(償還価額)						
11期(2020年3月25日)	8,463.38	—	△12.0	—	—	—	392

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率
		円 銭	%			
(期首)						
2019年10月28日	9,616	—	—	—	—	95.2
10月末	9,694	—	0.8	—	—	98.8
11月末	10,123	—	5.3	—	—	98.5
12月末	10,443	—	8.6	—	—	97.6
2020年1月末	10,824	—	12.6	—	—	98.2
2月末	10,015	—	4.1	—	—	98.3
(償還時)	(償還価額)					
2020年3月25日	8,463.38	—	△12.0	—	—	—

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第1期～第11期：2014年11月25日～2020年3月25日

▶ 設定来の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第1期首	10,000円
第11期末	8,463.38円
既払分配金	3,407円
騰落率	17.5%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

償還価額は設定時に比べ17.5%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

> 基準価額の主な変動要因**上昇要因**

AMAZON.COM INCやMICROSOFT CORPなどの保有する銘柄の株価が上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

米ドルが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

第1期～第11期：2014年11月25日～2020年3月25日

投資環境について

▶ 株式市況

信託期間を通してみると、米国株式市況は上昇しました。

設定時から2018年9月にかけては、ギリシャ情勢の不透明感や中国の景気減速懸念の高まりなどから下落する場面もあったものの、米国の経済指標や企業決算が良好だったことに加え、トランプ政権による税制改革への期待などが好感され上昇しました。2018年10月から12月にかけては、米中関係悪化に対する懸念が高まったことなどから下落したものの、その後は米国の利上げ観測が後退し、利下げ観測が高まったことに加え、米中通商協議への進展期待などから上昇しました。2020年1月下旬から償還日にかけては、新型コロナウイルスの世界各地での感染拡大を受け、景気減速懸念が高まったことなどから下落したものの、信託期間を通してみると上昇しました。

▶ 為替市況

設定時に比べ、米ドルは対円で下落しました。

▶ 国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は概ねマイナス0.1%～0.1%の範囲で推移、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りは概ね0.1%を下回る水準で推移しました。

設定時から2016年1月までの無担保コール翌日物金利は、日銀による金融緩和政策の影響を受けて、0.1%を下回る水準で推移しました。2016年2月のマイナス金利の適用開始以降はマイナス圏での推移となり、足下ではマイナス0.028%程度で推移しました。

設定時からの国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りは、日銀による量的・質的金融緩和のなか、2016年1月までは概ね0%程度で推移しました。1月の日銀金融政策決定会合でマイナス金利の導入が決定されると金利低下圧力が強くなり、2016年12月にかけてはマイナス0.45%程度まで低下しました。その後、短期国債の需給が緩和したことなどからやや上昇傾向となったものの、足下は需給の引き締まりから金利低下圧力が強まり、マイナス0.44%程度で推移しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 米国成長株オープン

信託期間を通じて、円建の外国投資信託であるUS・グロース・ストック・ファンド（USDクラス）受益証券を高位に組み入れ、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行いました。

第11期（2019年10月29日～信託終了日）は、繰上償還に向け、2020年3月中旬に円建の外国投資信託であるUS・グロース・ストック・ファンド（USDクラス）受益証券、マネー・プール マザーファンド受益証券の組入比率をゼロにしました。

▶ US・グロース・ストック・ファンド（USDクラス）

信託期間を通じて、主として米国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式への投資を行いました。

時価総額が大きく流動性に優れた大型株を中心に投資を行いました。

ポートフォリオの構築にあたっては、ボトムアップ・アプローチを活用しアナリストによる徹底的な銘柄分析を行い、競争環境や業種などを考慮した独自の成長基準に合致し、利益成長性が高いと判断される銘柄に投資を行いました。

クラウドコンピューティングなどの収益成長が期待されるMICROSOFT CORPや、検索サービスやYouTubeでの広告収入の伸びなどが期待されるALPHABET INC-CL C、オンライン通販やクラウドコンピューティングなどの収益成長が期待されるAMAZON.COM INCなどを組み入れました。

▶ マネー・プール マザーファンド

信託期間を通じて、わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持を目指した運用を行いました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、分配金額を決定しました。原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行いました。この結果、第1期は322円、第2期は118円、第5期は57円、第6期は763円、第7期は128円、第8期は1,054円、第9期は965円の分配とし、その他の期につきましては見送りとさせていただきます。

信託期間中、累計で3,407円の分配を行わせていただきました。

▶ 償還価額

▶ 米国成長株オープン

償還価額は、8,463円38銭となりました。

信託期間中はご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

2019年10月29日～2020年3月25日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	49	0.485	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(16)	(0.157)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(32)	(0.314)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.013)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.004	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	49	0.489	

期中の平均基準価額は、10,183円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

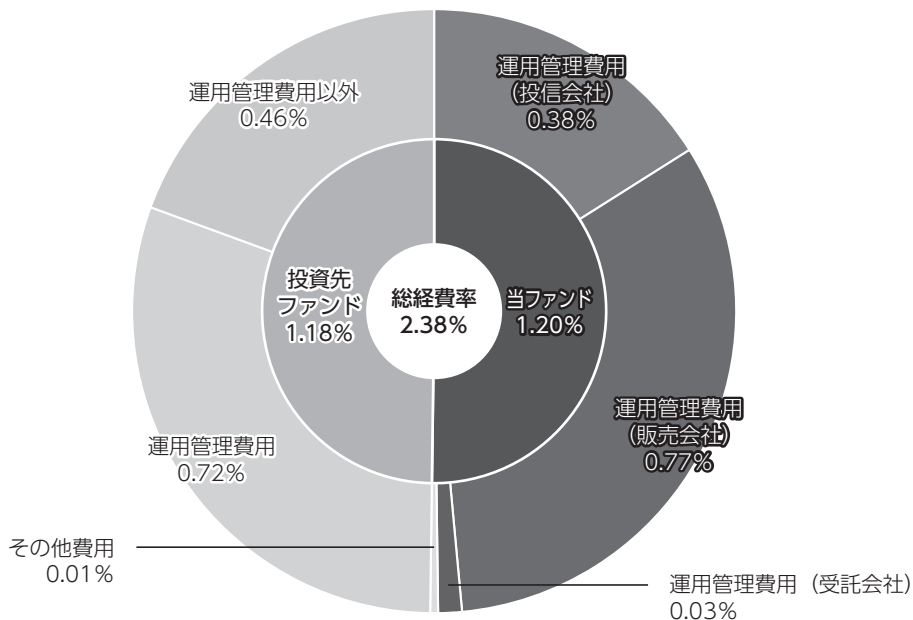
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.38%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	2.38
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.20
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.72
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.46

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年10月29日～2020年3月25日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	US・グロース・ストック・ファンド (USDクラス)	千口 57,360	千円 80,628	千口 553,274	千円 678,818

(注) 金額は受渡代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
マネー・プール	マザーファンド	千口 -	千円 -	千口 0.996	千円 1

○利害関係人との取引状況等

(2019年10月29日～2020年3月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年3月25日現在)

信託終了日現在、有価証券等の組入れはございません。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		期首(前期末)	
		口数	金額
	US・グロース・ストック・ファンド (USDクラス)	千口 495,914	
	合 計	495,914	

親投資信託残高

銘柄		期首(前期末)	
		口数	金額
マネー・プール	マザーファンド	千口 0.996	

○投資信託財産の構成

(2020年3月25日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 398,085	% 100.0
投資信託財産総額	398,085	100.0

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2020年3月25日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	398,085,071
コール・ローン等	398,085,071
(B) 負債	5,377,458
未払解約金	2,432,130
未払信託報酬	2,918,152
未払利息	202
その他未払費用	26,974
(C) 純資産総額(A-B)	392,707,613
元本	464,007,874
償還差損金	△ 71,300,261
(D) 受益権総口数	464,007,874口
1万口当たり償還価額(C/D)	8,463円38銭

<注記事項>

- ①期首元本額 746,889,745円
 期中追加設定元本額 72,304,291円
 期中一部解約元本額 355,186,162円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.846338円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は71,300,261円です。

○損益の状況 (2019年10月29日～2020年3月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	37,747,103
受取配当金	37,750,065
受取利息	14
支払利息	△ 2,976
(B) 有価証券売買損益	△ 90,135,321
売買益	13,212,092
売買損	△103,347,413
(C) 信託報酬等	△ 2,945,126
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 55,333,344
(E) 前期繰越損益金	△ 15,767,806
(F) 追加信託差損益金	△ 199,111
(配当等相当額)	(56,288,448)
(売買損益相当額)	(△ 56,487,559)
償還差損金(D+E+F)	△ 71,300,261

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2014年11月25日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2020年3月25日		資産総額	398,085,071円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	5,377,458円
				純資産総額	392,707,613円
受益権口数	1,000,000口	464,007,874口	463,007,874口	受益権口数	464,007,874口
元本額	1,000,000円	464,007,874円	463,007,874円	1万口当たり償還金	8,463円38銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	1,143,551,244円	1,143,517,174円	10,000円	322円	3.22%
第2期	1,312,525,591	1,312,577,229	10,000	118	1.18
第3期	1,327,568,087	1,208,355,242	9,102	0	0.00
第4期	1,273,170,484	1,087,888,253	8,545	0	0.00
第5期	1,061,802,648	1,061,779,364	10,000	57	0.57
第6期	796,744,798	796,725,436	10,000	763	7.63
第7期	722,460,513	722,493,777	10,000	128	1.28
第8期	645,919,123	645,939,538	10,000	1,054	10.54
第9期	649,934,278	649,922,707	10,000	965	9.65
第10期	746,889,745	718,238,950	9,616	0	0.00

○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金(税込み)	8,463円38銭
----------------	-----------

◆償還金は償還日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆課税上の取り扱い

・個人受益者の場合、償還価額から取得費(申込手数料(税込)を含みます。)を控除した利益(譲渡益)が譲渡所得等として課税され、原則として、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%)の税率による申告分離課税が適用されます。

・特定口座(源泉徴収選択口座)を利用する場合、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%)の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

【お知らせ】

受益権の口数が投資信託約款に定められた口数を下回っており、投資信託契約を解約することが受益者にとって有利であると認められるため、信託約款の規定に基づき、信託を終了しました。

(2020年3月25日)